

取扱説明書：Ver 1.00

FES-160

アメニティドーム M TC



この度は、スノーピーク製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は、キャンプ用テントです。安全にご使用いただくためにも下記の取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。説明内容で理解出来ない点及び製品に不具合が確認された際には直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

セット内容

セット内容は一般的な条件下での設営を基本としたものです。頑丈で長めのペグや、ロープなどを用意されると、柔軟な対応が可能となります。ペグやロープ、自在などは消耗品ですので、常に予備を携行することをお勧めします。



取説冊子(本書)×1



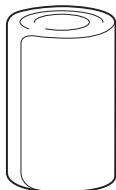
リペアパイプ×1



ジュラルミンペグ17cm×18



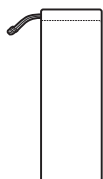
自在付ロープ
1.4m×2
2.5m×2
二又用5m×2



インナーテント×1
フライシート×1



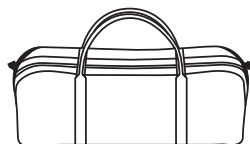
ベグケース×1



フレームケース×1



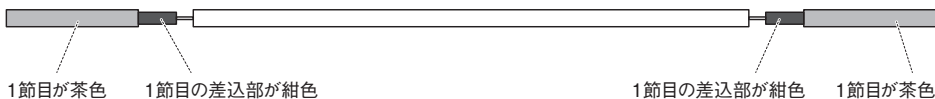
クロスフレーム×2
サイドフレーム×1
前室用フレーム×1



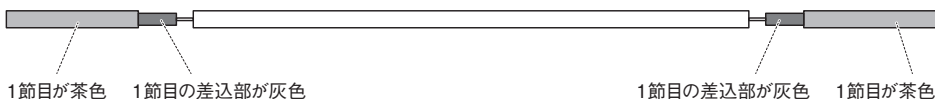
キャリーバッグ×1

フレーム構成

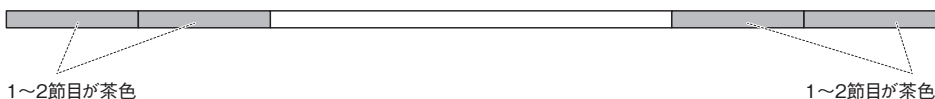
クロスフレーム×2



サイドフレーム×1



前室用フレーム×1



安全上の注意事項 ご使用前によく読んで予測される事故を回避し安全にご使用ください。

⚠ 危険 明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示します。

- 本製品は不燃素材ではありません。本製品内では燃焼式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源や、マッチ、ローソク、ライター、タバコなどの裸火や炎は絶対に使用しないでください。限られた空間での火気の使用は火災や酸欠、一酸化中毒などのおそれがあり大変危険です。
- 本製品内で燃料を保管したり、燃料を補給するなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。



⚠ 警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

- ご使用前に、本製品を点検し各部に異常がないことを確認してください。異常が発見された場合は、直ちに使用を中止しお買い求めいただいた販売店様、または弊社ユーザーサービス係に点検または修理を依頼してください。
- 気象状況には常に細心の注意を払い、風の強い時や悪天候が予想されるときは速やかに撤収して安全な場所へ避難してください。
- 高温に加熱されたものや発熱性のあるものを持ち込まないでください。火災や熱中症などの危険があります。
- 天候によりインナールーム内は高温になり、熱中症などの危険があります。お子様の昼寝の際など、細心の注意を払ってください。
- 風の吹き抜けるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な洪水や氾濫などのおそれのない地盤のしっかりとした、水はけの良い平坦な場所を選んで設営してください。



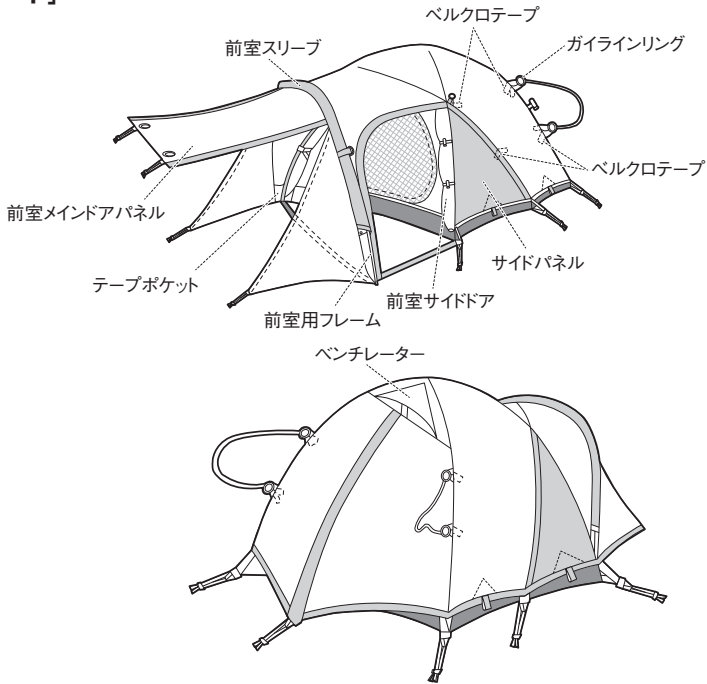
⚠ 注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大損害の原因となる行為を示します。

- 本製品は水に濡れて生地が膨張することにより防水性を発揮します。生地が膨張する前に急な大量の雨にさらされると雨漏りをする場合があります。
- 本製品は常設用ではありません。製品の素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- 日差しにより製品の表面は低温やけどに発展するほどの高温になります。十分ご注意ください。
- 角のある石や折れた木の枝など鋭利なもの無い平坦な場所で使用してください。
- 焚火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。設営・撤収の際には、周囲に火気がないことを確認してください。火の粉を被り、生地に穴を開けてしまう場合があります。
- 樹液が付着するときれいに除去することができません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設営してください。シンナーやベンジン等の有機溶剤により無理に除去しようとすると生地やコーティングを痛めてしまいますのでおやめください。
- 薬品（農薬、虫除けスプレーなど）が付着するとPUコーティングが破壊され耐水圧が異常低下してしまう場合があります。この症状と判断された場合、製品の保証が出来なくなりますのでご注意ください。
- テントの設営・撤収の際は、風に飛ばされないよう生地とフレームをしっかりと支えて作業してください。フレーム先端のハネ返り等で思わぬ事故に繋がるおそれがありますので、必ず周囲の安全を確認して作業してください。
- 本製品はインナーテントボトムに防水性の高い生地を使用しておりますが、地面の水溜りなどへ長時間接触していると雨水が浸み込む場合があります。
- 薄い生地を使用していますので、生地を引っ張りすぎると破損するおそれがあります。ご注意ください。
- ベグとロープでしっかりとテントを固定してください。
- ロープを正しく張ることにより風や雨に耐える強度を得ることができます。ご使用の際は取扱説明書（本書）に従い必ずすべてのロープを張ってください。
- 足もとのビルディングテープ、ロープやベグ等にはご注意ください。足を引っ掛けて転倒し、思わぬ事故の原因となります。
- インナーテント内には小物を吊るすループが付いています。1kgを超えない範囲でご使用ください。

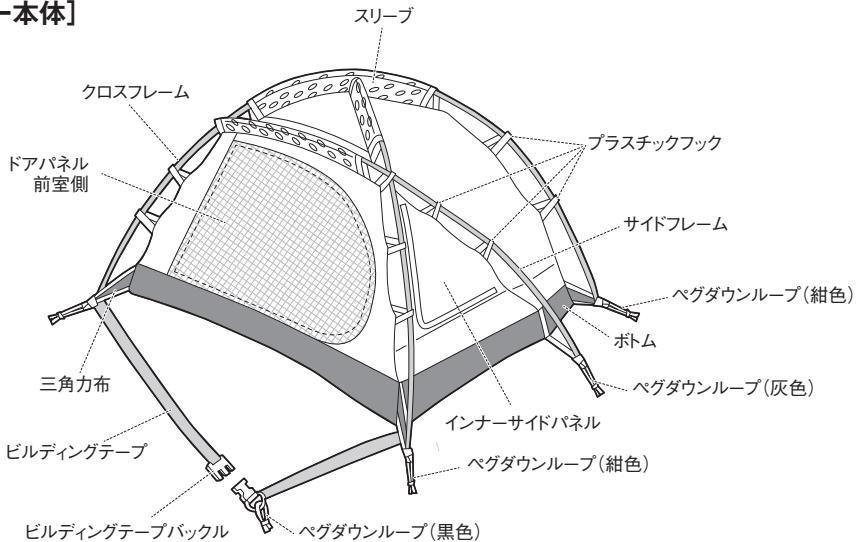
各部の名称

※前室メインドアをはね上げて使用する際は別途、ポール・ロープ、ペグをご用意ください。

[フライシート]



[インナー本体]



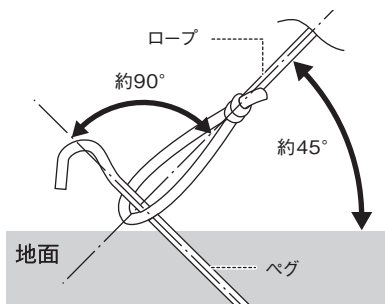
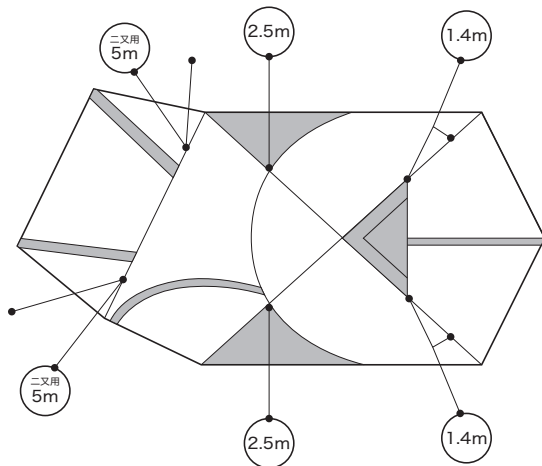
使用前の準備

本製品のフライシートは製造の都合上、または構造上、シームテープを施していません。通常の雨には十分対応できますが、長時間の大雨や横なぐりの雨、地面に雨水が溜まっているような状態では、縫い目から雨水が侵入することがありますので必要に応じて縫い目にシームシーリング剤(目止め液)を塗布してください。シームシーリング剤は縫い目に沿って表裏の両面からうすく塗布し、よく乾燥させてください。シームシーリング剤は時間とともに硬化します。剥離したときは塗布しなおしてください。

初めてお使いになる前に

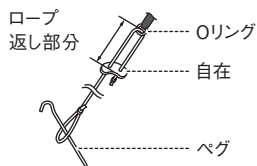
品質には万全を期しておりますが、お使いになる前に必ず試し張りをを行い、付属品や設営手順を確認してください。万一不具合があった場合は、お買い求めになった販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

自在付ロープの取付け、ペグダウンの位置



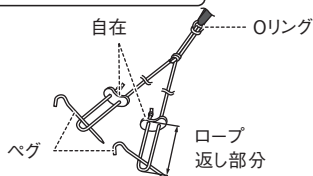
ペグダウンはテントからできるだけ遠くに行ってください。設営したとき、ロープの角度が地面に対して約45°となるのが理想的なペグダウンの位置です。また、ペグを打ち込む角度はロープに対して90°になるようにペグダウンしてください。

シングルロープの取付け



ロープの自在が付いている返し部分がOリング側に来るように取り付けてください。

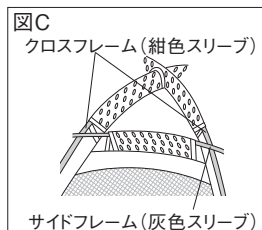
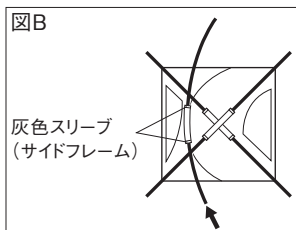
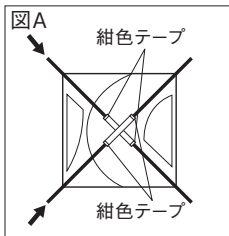
二又用ロープの取付け



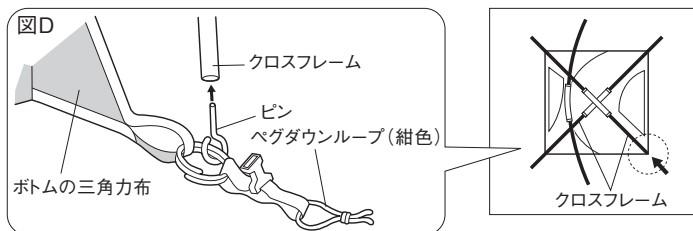
中間の結び目をOリングに通し返し部分がペグ側に来るように取り付けてください。

設営の手順 より安全に設営するためにも必ず2人以上で設営してください。

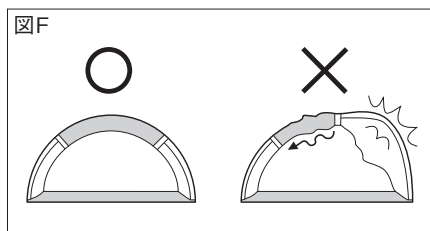
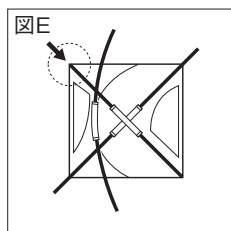
- ① インナーテントを平らな場所に広げます。
 ※テント本体の出入口は2カ所あります。ビルディングテープのある側が前室となり、メインの出入口となります。あらかじめ風雨などの予測をし、前室の方向を決めておく必要があります。
 ※基本的に前室は風下向けです。風上向けると、風雨が侵入するばかりかドアを開けた際に突然風が入り、本体を破損する場合があります。
- ② クロスフレーム2本を伸ばし、接続部分をしっかりと連結します。
 ※フレームの連結部分にすき間ができないように、しっかりと差し込んでください。
- ③ クロスフレームを紺色の表示のあるスリーブに1本ずつ、ゆっくりと送り込みます。〔図A〕
- ④ サイドフレームを伸ばし、接続部分をしっかりと連結します。
 ※フレームの連結部分にすき間ができないように、しっかりと差し込んでください。
- ⑤ サイドフレームを灰色の表示のあるスリーブにゆっくりと送り込みます。〔図B〕
 ※サイドフレームはクロスフレームの上を通してください。〔図C〕



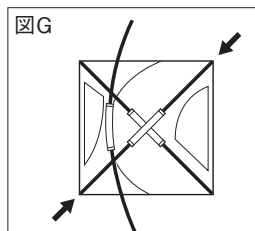
- ⑥ クロスフレーム1本の先端にピンを差し込みます。
 ※差し込む際にフレーム1節目差込部(紺色)とベグダウンループ(紺色)の色が合っているか確認してください。〔図D〕



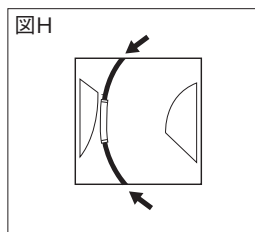
- ⑦ ピンを差し込んだクロスフレームの反対側の先端にピンを差し込みます。〔図E〕
 ※スリーブの位置が中央になる様に本体を調節しながら、ゆっくりとフレームの端部にピンを差し込んでください。一方から強引に押し込むと反対側が大きく湾曲し、フレームの破損の原因になります。〔図F〕
 反対側の人と声をかけ合いながら行ってください。



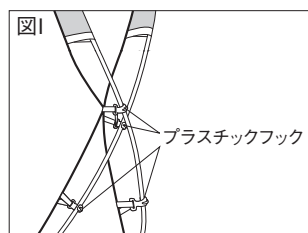
- ⑧ もう1本のクロスフレームも、同じ要領でピンを差し込み、テントを立ち上げます。〔図G〕
※ドアパネルやサイドパネルを半分位開けておくと空気が室内に入りうまく立ち上がります。



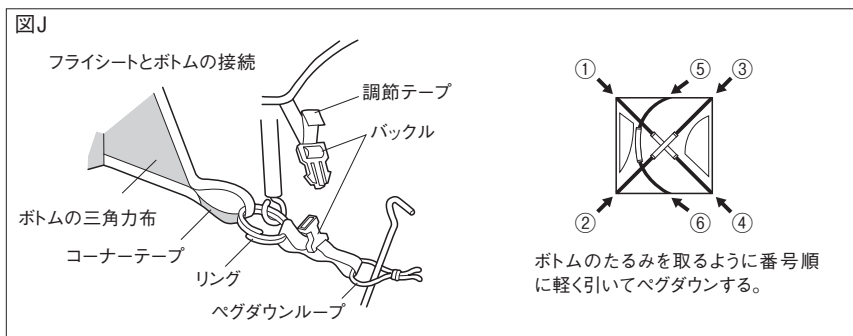
- ⑨ サイドフレーム両端をピンに差し込みます。〔図H〕
※差し込む際にフレーム1節目差込部(灰色)とベグダウンループ(灰色)の色が合っているか確認してください。



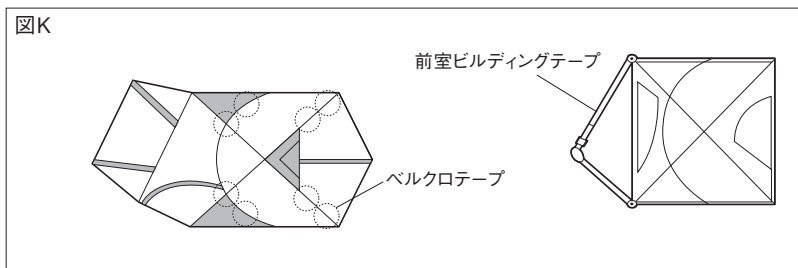
- ⑩ 本体に付いているプラスチックフックを各々のフレームに引っ掛けます。(14カ所)〔図I〕



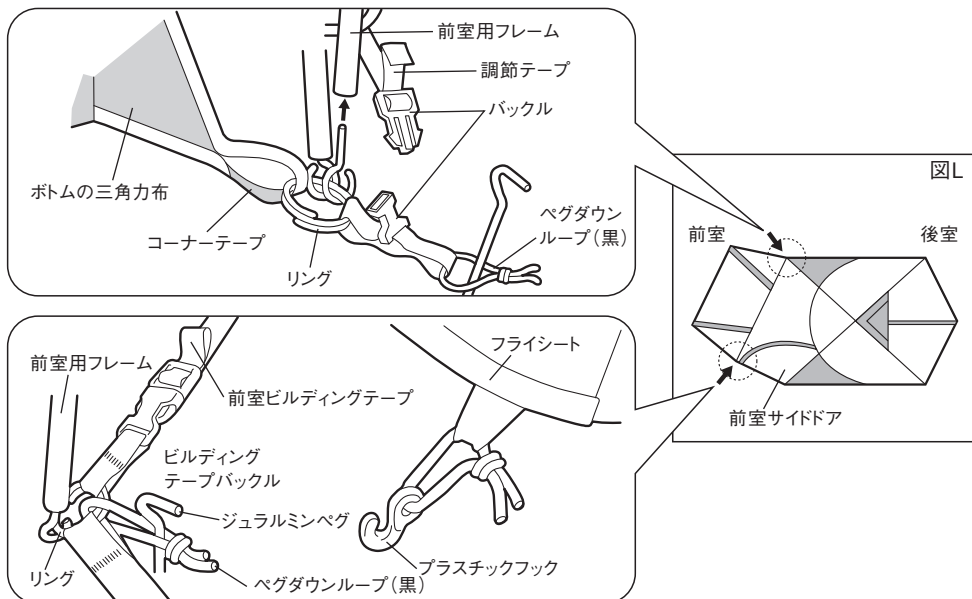
- ⑪ 前後のドアパネルのファスナーを全て閉めます。次に6カ所のベグダウンループ(紺色×4カ所、灰色×2カ所)にベグを通し、ボトムのたるみを取る様に番号順に軽く引き打ち込みます。〔図J〕
※ベグは最後まで打ち込んでください。
※ベグは無理に打ち込むと、曲がりや折れなどの破損につながります。少しずつ打ち込み、石などの障害物に当たった場合は場所を変えてから打ち込んでください。
※ファスナーを閉めずにベグダウンすると、ドアが閉められなくなることがあります。



- 12** 前室・後室の方向を確認し、フライシートを被せます。〔図K〕
 ※フライシートの内側についている、ずれ防止のベルクロテープをフレームに巻き付けて固定します。テント撤収の際は、ベルクロテープの外し忘れにご注意ください。ベルクロテープがフレームについてそのままフライシートを強く引っ張ると、ベルクロテープ破損の原因になります。
 ※前室ビルディングテープが接続されていることを確認してください。

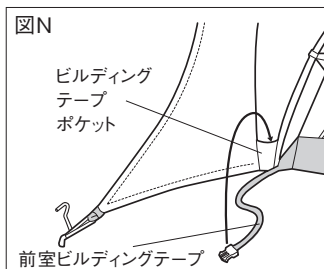
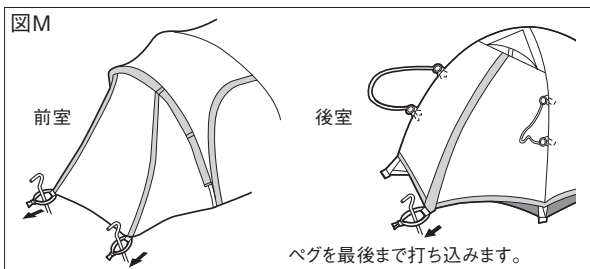


- 13** 前室用フレームを伸ばし、接続部分をしっかりと連結します(1本)。
 ※フレームの連結部分にすき間があかないように、しっかりと差し込んでください。
- 14** フライシート前室のスリーブに前室フレームをゆっくりと送り込み、フレーム両端にピンを差し込みます。〔図L〕
- 15** フライシート裾の6個のバックルをボトム側のリングに付いているバックルに接続します。全てのバックルを接続した後フライシートの弛みをとる為に調節テープを引き、テンションをかけます。〔図J〕
 ※引きすぎにご注意ください。引きすぎますと、フライシートを破損するおそれがあります。
- 16** 前室サイドアコーナーのプラスチックフックをリングにかけます。〔図L〕



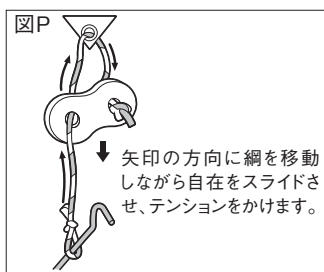
- ①7 前室・後室の先端を引き、ゴムループにベグを通し打ち込みます。〔図M〕
※引きすぎにご注意ください。引きすぎますと、ファスナーに負担がかかり破損するおそれがあります。

- ①8 全てのコーナーをベグダウンした後、前室ビルディングテープのバックルを外しテープをまとめてテープポケットに収納します。〔図N〕



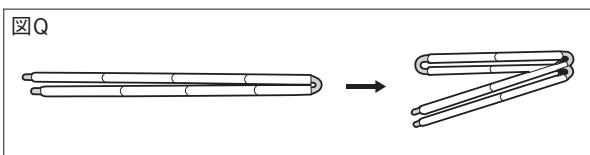
- ①9 各張り網を伸ばし、ベグを打ち込みます。
〔P4 自在付ロープの取付け、ベグダウンの位置〕

- ②0 張り網の自在を引き、テンションをかけます。〔図P〕
※ロープの引きすぎにご注意ください。引きすぎますとフライシートに負担がかかり破損するおそれがあります。



撤収・収納時の注意事項

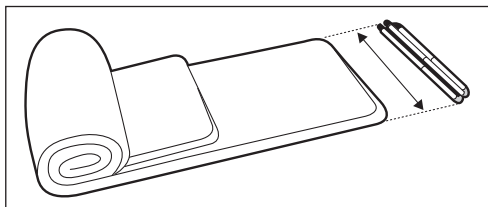
- 十分に乾燥してから収納してください。
 - 強風時は、風が収まるのを待ってから撤収してください。
 - 別のテント/タープ等を併用していた場合は、必ず併用していた製品を本体から取りはずしてから撤収をはじめてください。
 - テントの中に何も入っていないこと、すべての付属品が取り外されていることやファスナーが閉まっていることを確認してから撤収をはじめてください。
 - 撤収の際はまず前室ビルディングテープを接続して、作業を始めてください。〔図K〕
 - フレームをピンから外す時はフレームがハネ返り危険です。フレームが真っすぐになるまで手を離さないでください。
 - クロスフレーム、サイドフレームをピンから外す際は、プラスチックフックをつけたまま外してください。全てのフレームをピンから外した後、プラスチックフックを外してください。
 - スリーブからフレームを取り出す際は、押し取り出してください。
- ※フレームを引いて取り出すと、スリーブの中で連結部が外れることがあります。必ず押し出してください。外れた連結部で生地を痛めることがあります。
- フレームは中央から端に向かって折り畳んでください。〔図Q〕端から折り畳むとショックコードに負担がかかり伸びや切断の原因になります。伸びが発生した場合、フレームを押さえる力がなくなり、フレーム折れの原因となります。ショックコードのテンションは定期的に点検してください。



- ベグはすべて抜き、汚れを落としてベグケースに頭を下に向けて収納してください。フレームはすべてフレームケースに収納してください。むき出しの状態での収納すると、本体生地やキャリーバッグ等を傷付けることがあります。

ケースへの収納

- ① キャリーバッグの長さに合わせて、本体、フライシートを折り畳みキャリーバッグの中に入れます。
- ② フレームやペグはそれぞれ付属の専用ケースに入れ、キャリーバッグに収納してください。むきだしの状態で収納すると本体生地やキャリーバッグを損傷することがあります。



結露について

空気中に含まれている水分が急激に冷やされて霧状になったものが結露として現れます。特にテントやシェルター等の限られた空間では、中にいる人間の水分が呼吸や汗などにより空気中に放出され水蒸気となり、通常の室内よりも水蒸気の濃度が高くなり、結露の発生する確率が高くなります。結露は優れた透湿防水素材でも使用状況により完全に防ぐことは不可能です。ご使用中は結露軽減のため、こまめに適時換気を行ってください。

撥水・防水性能について

- 本製品は水に濡れて生地が膨張することにより防水性を発揮します。生地が膨張する前に急な大量の雨にさらされると雨漏りをする場合があります。
- 本製品はいずれの生地にも高性能の撥水加工を施していますが、生地の特性上、撥水性能(撥水の仕方や耐久性)に若干の差が見られる場合があります。また、ご使用を重ねますと撥水性能が低下する場合があります。性能が低下した場合は市販の撥水スプレー等を、それらの説明書をよくお読みの上ご使用ください。
- 本製品はインナーテントボトムに防水性の高い生地を使用しておりますが、地面の水溜りなどへ長時間接触していると雨水が浸み込む場合があります。
- 農薬などでPUコーティングが破壊され耐水圧が異常低下してしまう場合があります。この症状と判断された場合、製品の保証が出来なくなりますのでご注意ください。
- 撥水剤の影響によりロゴマークが剥離する場合があります。

防カビ加工について

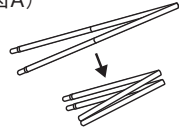
- フライシートの生地には高性能の防カビ加工を施しています。防カビ加工品とは、防カビ加工されてない製品と比較し、特定のカビの生育が基準より抑えられているものです。
- カビを死滅させるものではありません。特定のカビの生育を抑制します。
- カビが発生しないことを保証するものではありません。使用条件によってはカビが発生する場合があります。
- ご使用を重ねますと防カビ性能が低下する場合があります。有効期間は実際に使用される環境により異なります。

メンテナンス・保管

- 本製品は生地の特性を考慮し、できる限り色移りし難い加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、色移りが発生する場合があります。ご了承ください。また、濡れたままの保管は避けてください。
- 本製品は材質的にしわが発生しやすい材質となっております。予めご了承ください。
- 濡れたまま保管すると、カビや悪臭、生地の色移り、生地の劣化などのトラブルの原因になりますので、使用後は風通しの良い日陰で十分に乾燥し、柔らかいブラシなどで泥汚れを落としてから保管してください。
- フレームを通した状態のまま逆さまにしないでください。フレーム折損や生地損傷の原因になります。
- フレームは表面の汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。濡れたまま保管すると腐食したり、強度が低下します。ジョイント部分は常に清潔にし、少量のシリコン系潤滑剤を薄く塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。また、フレーム内部のショックコードは不必要に引っ張らないでください。

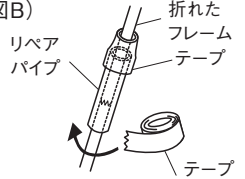
●フレームを収納する際は、中央を意識しながら折り畳んでください。(図A)

(図A)



●使用する際にフレームが折れてしまった場合は、応急処置として速やかに付属のリペアパイプをあて、ビニールテープで固定するか、撤収をしてください。(図B)

(図B)



●高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。

●ファスナーに泥や砂、ホコリなどが付着したまま使用すると摩耗し破損の原因になりますので、ブラシなどを常に清潔にしてください。また、スライダーの動きを滑らかにするために、少量のシリコン系樹脂剤を定期的に塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。

●小さな生地の破損は市販のリペアテープで補修できます。補修の際はリペアテープの説明書をよくお読みください。

●ご使用により広範囲にわたり素材が劣化し、耐久度合を超えたものは修理できない場合があります。

●シームテープはPUコーティングが痛まない程度の温度設定で圧着されていますが、使用を重ねるにしたがい剥離してしまう場合があります。剥離が確認された場合は、アイロンを低温に設定し、剥離箇所のみを再度圧着してください。熱を掛け過ぎた場合生地が変色したり劣化が促進されますのでご注意ください。シームテープは無理やり剥離させないでください。PUコーティングと一緒に剥離された場合、修理できなくなる可能性があります。

●樹液が付着してしまうときれいに除去することはできません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設営してください。溶剤などにより無理に除去すると生地やコーティングを傷めます。

●次の使用に備え、ロープやペグなどの付属品も含め、上記の通り十分に保守、点検をしてください。

品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期していますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店様もしくは弊社または各製品に記載された連絡先にご相談ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適切な価格で修理させていただきます。修理、交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は修理できない場合もありますので予めご了承ください。

1. 素材の経年劣化による損害など商品の寿命
2. 改造および粗雑な取扱いによる故障
3. 取扱説明書で禁止されている取扱いによる故障
4. 不測の事故による商品の故障
5. その他製造上の欠陥以外による製品の故障
6. ゴミやさびによる故障
7. 分解したことによる不具合の発生または破損
8. 落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合
9. 摩擦によるパーツの変化及びそれによる故障
10. 他社製品との組み合わせによる故障

修理について

- 本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。
- 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
- 修理品には修理箇所がはっきりと解るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
- 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
 - 1.保証対象の場合:往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。
 - 2.保証対象以外の場合:往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

スペック

○セット内容:フライシート、インナーテント、クロスフレーム(×2)、サイドフレーム、前室用フレーム、ジュラルミンペグ(17cm×18)、自在付ロープ(1.4m×2、2.5m×2、二又用5m×2)、リペアパイプ、キャリーバッグ、フレームケース、ペグケース

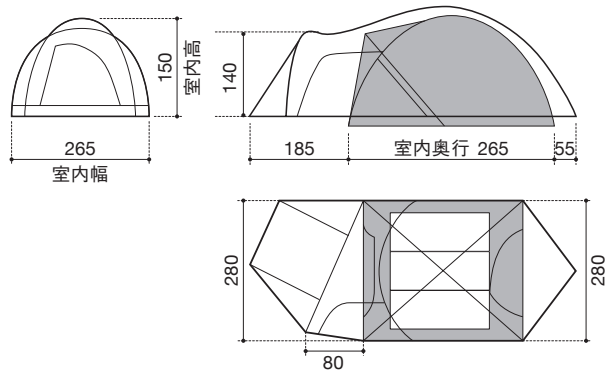
○材質:フライシート/210g/m²ポリエステルコットン混紡生地(ポリエステル約65%、コットン約35%)・撥水加工・防カビ加工、インナーウォール/68Dポリエステルタフタ、ボトム/210Dポリエステルオックス・PUコーティング耐水圧1,800mmミニマム、フレーム/ジュラルミンA7001(Φ12.8mm、Φ12mm、Φ11.8mm)

○キャリーバッグサイズ:74×22×25(h)cm

○重量:11kg

○対応人数 3~5名

(cm)



不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

スノーピークユーザーサービス
☎ 0120-010-660 (9:00~17:00)
Email: userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク

〒955-0147 新潟県三条市中野原456
Tel. 0256-46-5858 / Fax. 0256-46-5860
www.snowpeak.co.jp

Product Manual : Ver 1.00

FES-160

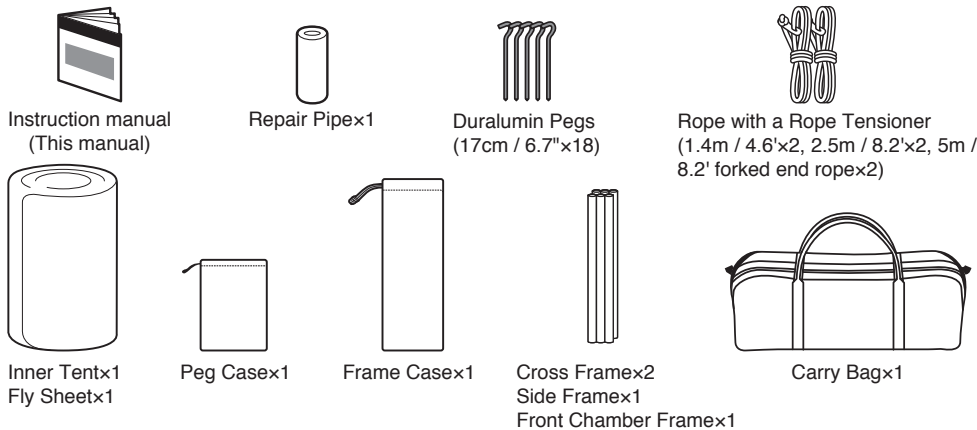
Amenity Dome M TC



Thank you for purchasing a Snow Peak product. This product is a tent for camping. For safety, read the following instruction manual before use. Please keep it safe for future reference. Finally, if you find anything that you do not understand in the description or any problems with the product, please stop use immediately and contact the retailer or Snow Peak Customer Service.

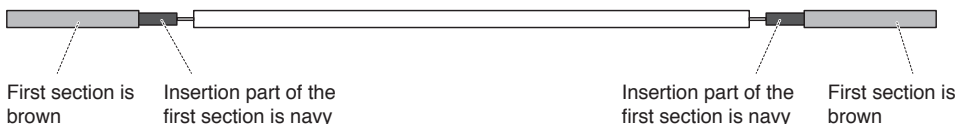
Set Contents

The contents of the set are based on setting up the tent in standard conditions. You should prepare some durable long pegs, ropes, and other accessories in order to make setup easier. Pegs, ropes, tensioners and similar accessories wear with use, so it is recommended to always carry spares.

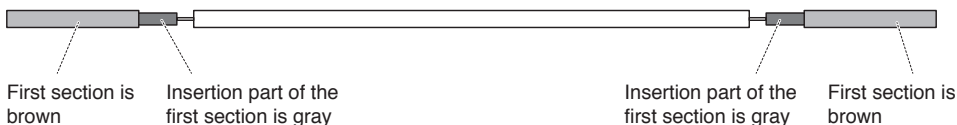


Frame Composition

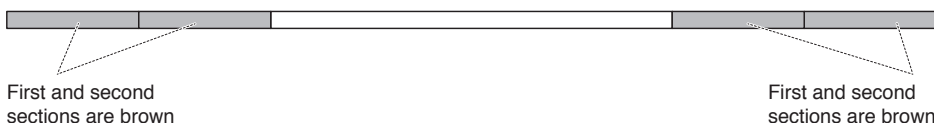
Cross frame×2



Side frame×1



Vestibule frame×1



Safety Precautions Before use please read thoroughly to ensure safety and to avoid accidents.

⚠ DANGER Misuse could easily result in a serious accident or death.

- This product is not fire-resistant. Do not use combustion-based heat sources (such as lanterns, stoves, or heaters) or open flames (such as matches, candles, lighters or cigarettes) inside this product. The use of fire or other heat sources inside a small enclosed space is very dangerous and may lead to oxygen deficiency or carbon monoxide poisoning.
- Do not keep fuel in this product, or bring in flammable items for replenishing fuel, etc.



⚠ WARNING Misuse could result in serious injury or death.

- Before using the product, check each part for abnormalities. If there are abnormalities, take the product to the dealer or Snow Peak Customer Service for inspection or repair.
- Pay close attention to the weather. If there are strong winds or extreme weather is in the forecast, pack up camp immediately and evacuate to a safe place.
- Do not bring heated items at high temperatures inside the tent. Excess heat could cause fire and/or heatstroke.
- The temperature inside the inner room will be elevated in warm weather, and excess heat could cause heatstroke. Pay close attention to the temperature, particularly when children are asleep.
- Choose a flat, well-drained area with firm ground to set up this product. Choose a place with no chance of avalanches, landslides, or flooding.



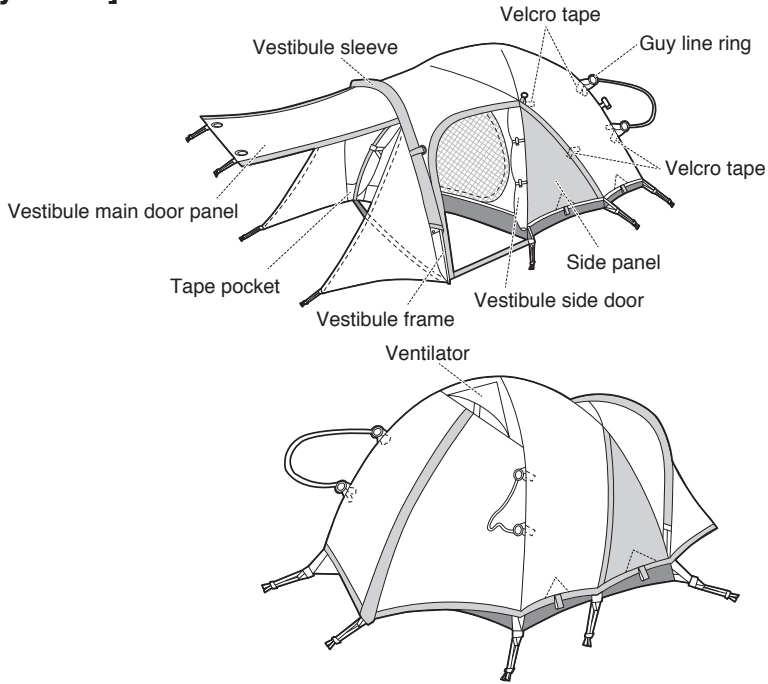
⚠ CAUTION Misuse could result in injury to the user and/or damage to property.

- This product's waterproof performance is activated by the material swelling when it gets wet. Rain may leak in when the material is exposed to a sudden large amount of rainwater before it swells.
- This product is not for permanent setup. If this product is left in the sun for long periods, the material may fade in color or deteriorate and lose strength. Do not use this product as a permanent setup.
- Sunlight can cause the surface of this product to heat up, potentially causing low-temperature burns. Be especially cautious when handling.
- Use this product on a flat place with no sharp objects such as rocks with sharp edges or broken branches.
- Do not assemble or use this product near a campfire, fireworks, etc. Make sure that there is no fire nearby when setting up or removing this product. Flying sparks can create holes in the fabric.
- Do not allow sap to stick to the product, as sap cannot be completely cleaned off. Avoid placing the product under trees that may drip sap. Using organic solvent such as paint thinner and benzene in an attempt to remove sap will damage the material and coating.
- Chemicals (agricultural chemicals, insect repellents, and other substances) may cause the PU coating to break down, which can significantly reduce the product's ability to withstand water pressure. If this occurs, there is no guarantee that the product will function as intended.
- Firmly hold the inner tent and fly sheet along with the poles so that they won't be blown away by the wind when assembling and disassembling the tent. Unexpected accidents may occur due to the pole ends recoiling. Ensure that the surrounding area is safe.
- The inner tent bottom of this product uses materials with high waterproof performance. However, if the materials make contact with pools of water on the ground for long periods, water may soak into the materials.
- As this product is made of thin material, pulling at it with strong force may cause damage. Be cautious when handling.
- Use the pegs and ropes to secure the tent in place.
- Applying proper tension to the ropes provides the product strength to withstand wind and rain. When using this product, be sure to use and apply tension to all ropes according to this manual.
- Pay attention to the building tapes, pegs and ropes at your feet. Otherwise, you may trip on it and fall, which can further lead to unexpected accidents.
- The inner tent has loops inside for hanging small objects. You can hang an object up to 1 kg.

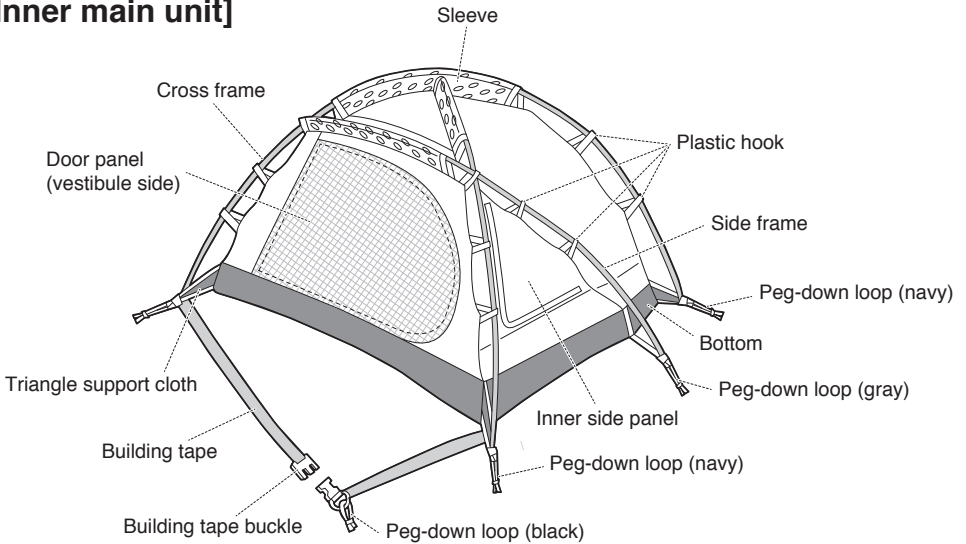
Name of the Parts

* To use the tent with the vestibule main door flipped up, you will need poles, ropes, and pegs.

[Fly sheet]



[Inner main unit]



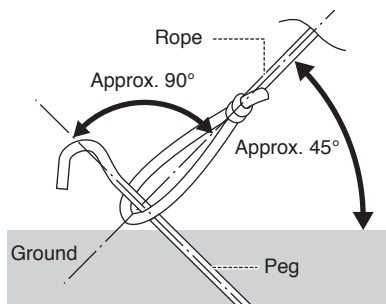
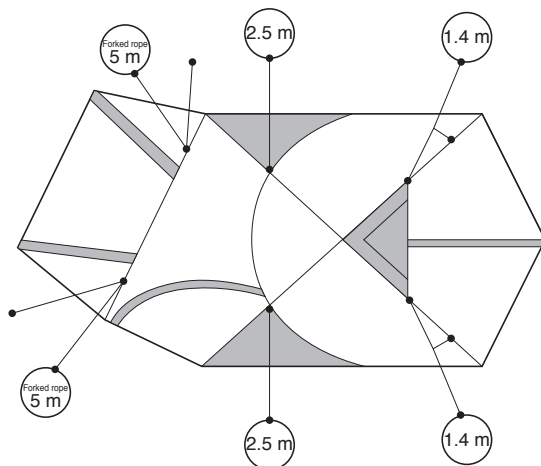
Preparations Before Use

The fly sheet of this product is not equipped with a seam tape for manufacturing or structural reasons. Though capable during periods of normal rain, long spells of heavy or driving rain, or prolonged contact with water pools on the ground, may result in water soaking through the stitching. Applying seam sealer is recommended in such situations. Apply seam sealer thinly along the seams from both sides of the fly sheet and allow it to dry well. Seam sealer will cure with time. Reapply when it comes off.

Before Using This Product for the First Time

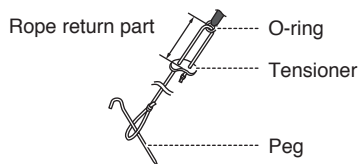
While utmost care is taken to ensure quality, be sure to test it first and check all the accessories and setup procedure before actual use. If you find any defects, contact your local dealership or Snow Peak User Service.

Attachment of Ropes with Tensioner and Pegging Locations



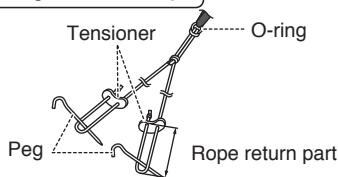
* Peg the ropes down in locations as far from the tent as possible. The ideal pegging location is where the angle between the rope and the ground is approximately 45° when the tent is set up. The angle to drive the pegs should be 90° to the rope.

Attaching the single rope



Attach the rope to the peg in such a way that the return part with the tensioner comes to the O-ring side.

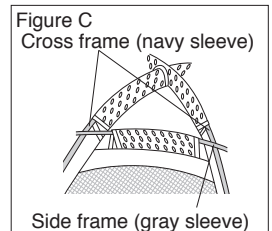
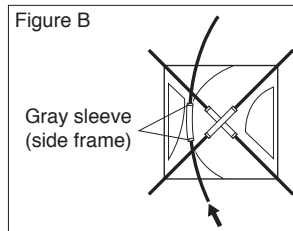
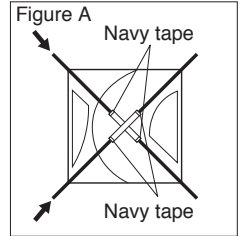
Attaching the forked rope



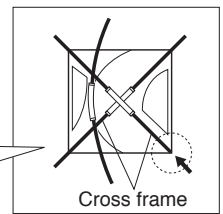
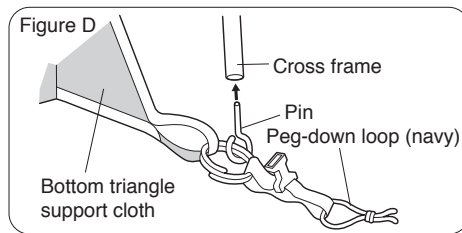
Attach the rope to the pegs in such a way that the return parts with the tensioners comes to the peg side.

Setup Procedure: Make sure to set up the tent with two or more people in order to ensure safety.

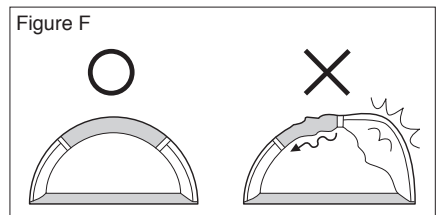
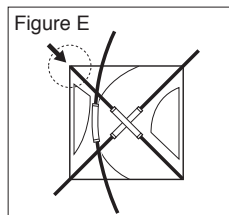
- 1 Spread the inner tent on a flat surface.
 - * The tent has two entrances. The side with the building tape is the vestibule, which is the main entrance. Consider wind and rain when determining which direction the vestibule should be facing.
 - * In general, the vestibule should be facing downwind. If the vestibule is facing upwind, not only will it allow entry of wind and rain, but also create a risk of sudden wind coming in when the door is opened, which may result in damage to the main unit.
- 2 Extend the two cross frames and then firmly join the connecting parts.
 - * Firmly insert the parts so that no gap is present in the connecting parts of the frames.
- 3 Slowly pass the cross frames through the cross frame sleeves with a navy marking one at a time. [Figure A]
- 4 Extend the side frame and then firmly join the connecting parts.
 - * Firmly insert the parts so that no gap is present in the connecting parts of the frame.
- 5 Slowly pass the side frame through the sleeve with a gray marking. [Figure B]
 - * Pass the side frame over the cross frames. [Figure C]



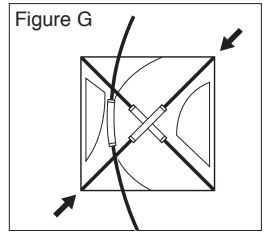
- 6 Insert a pin into the tip of one of the cross frames.
 - * When inserting a pin, make sure that the color (navy) of the insertion part of the first section of the frame matches the color (navy) of the peg-down loop. [Figure D]



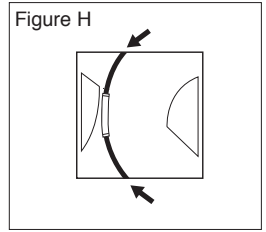
- 7 Insert a pin into the other tip of the cross frame. [Figure E]
 - * While adjusting the main unit so that the sleeve comes to the middle, slowly insert the pin into the end of the frame. Forcing a pin from one end causes the other side of the frame to flex excessively, which can result in frame breakage. [Figure F]
 - Perform this task while communicating with the helper on the other side.



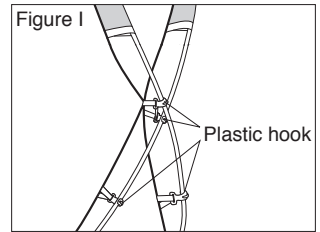
- 8 Insert pins into the other cross frame in the same manner and set up the tent. [Figure G]
 * Keeping the door panels and side panel halfway open allows air to enter the room, making the setup easier.



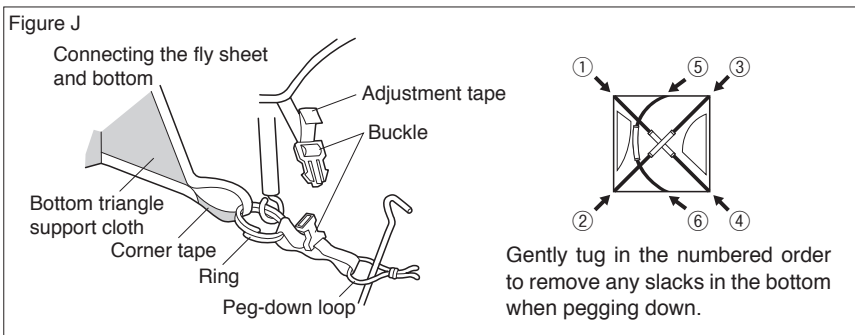
- 9 Insert pins into both ends of the side frame. [Figure H]
 * When inserting the pins, make sure that the color (gray) of the insertion part of the first section of the frame matches the color (gray) of the peg-down loops.



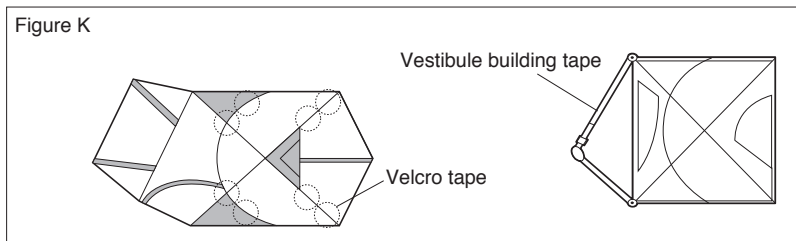
- 10 Attach the plastic hooks on the main unit to the corresponding frames. (14 locations) [Figure I]



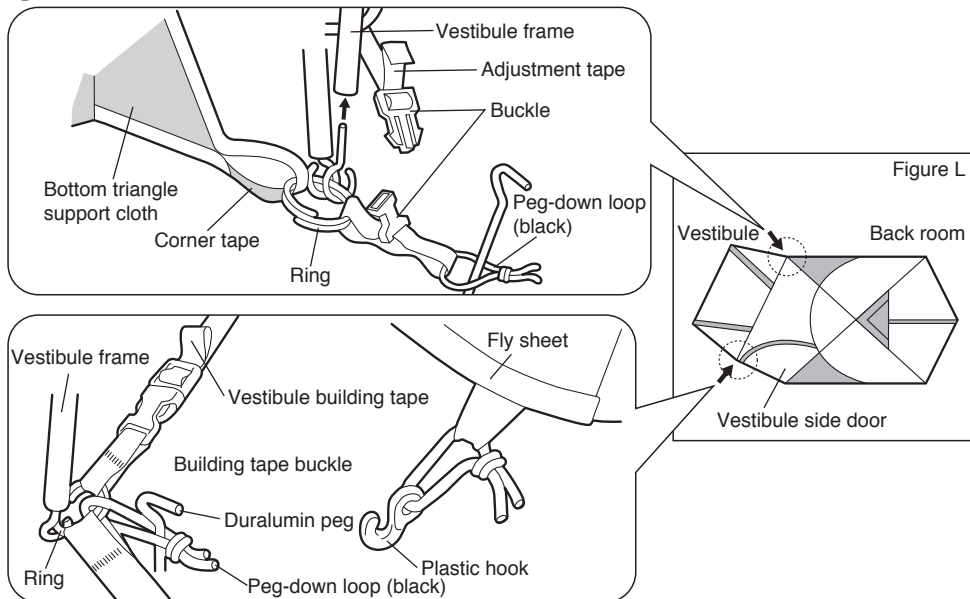
- 11 Close all the fasteners of the front and back door panels. Next, pass pegs through the six peg-down loops (4 navy and 2 gray loops) and gently tug in the numbered order to remove any slacks in the bottom while driving the pegs. [Figure J]
 * Drive the pegs completely.
 * Pegs may bend or break when they are driven with excessive force. Drive the pegs little by little, and when they hit a rock or other obstacle, change the position and try again.
 * Pegging down without closing the fasteners may prevent the doors from closing.



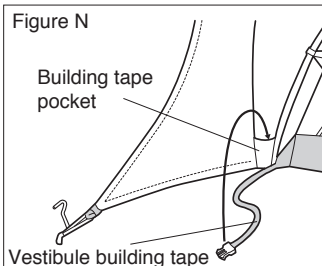
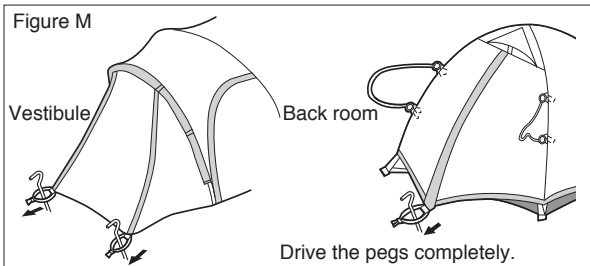
- 12** Check the direction of the vestibule and back room, and put the fly sheet over the frames. [Figure K]
 * Wind the velcro tapes on the inside of the fly sheet onto the frames to prevent shifting and keep it in place. Make sure to remove the velcro tapes when taking down the tent. Pulling the fly sheet hard while the velcro tapes are still on the frames can cause the velcro tapes to tear.
 * Make sure that the vestibule building tape is connected.



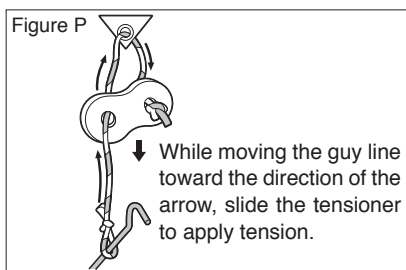
- 13** Extend the vestibule frame and then firmly join the connecting parts (1 pole).
 * Firmly insert the parts so that no gap is present in the connecting parts of the frames.
- 14** Slowly pass the vestibule pole through the sleeve in the vestibule part of the fly sheet and insert pins to both ends of the pole. [Figure L]
- 15** Connect the six buckles at the hem of the fly sheet to the buckles on the rings on the bottom side. After connecting all the buckles, pull the adjustment tape to remove any slacks in the fly sheet and apply tension. [Figure J]
 * Do not use excessive force to pull. Pulling too hard may cause damage to the fly sheet.
- 16** Attach the plastic hook at the corner of the vestibule side door to the ring. [Figure L]



- 17** Pull the ends of the vestibule and back room, and drive pegs through the rubber loops. [Figure M]
 * Do not use excessive force to pull. Pulling too hard causes excessive force to be applied on the fasteners, which may cause breakage.
- 18** After pegging down all corners, remove the buckle of the vestibule building tape, bundle the tape, and store it in the tape pocket. [Figure N]

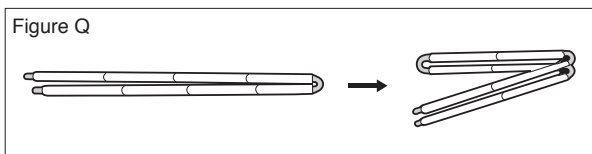


- 19** Extend the guy lines and drive the pegs.
 [Page 16: Attachment of Ropes with Tensioner and Pegging Locations]
- 20** Pull the tensioner of each guy line to apply tension.
 [Figure P]
 * Do not excessively pull the ropes. Pulling too hard causes excessive force to be applied on the fly sheet, leading to damage.



Precautions for Disassembly and Storage

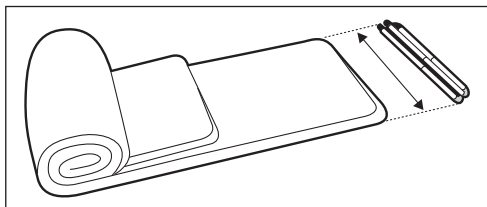
- Please make sure that the product is sufficiently dry before storing it.
 - If the wind is strong, wait for it to subside before disassembling the shelter.
 - If you are using this product with another tent or tarp, always remove it from this product before taking it down.
 - Start packing up after confirming that there is nothing left inside the tent and that all accessories are removed and all fasteners are closed.
 - First connect the vestibule building tape before starting to take down the tent. [Figure K]
 - Frames may spring back as they are being removed from the pins. Do not let go until the frame is straight.
 - Keep the plastic hooks attached when removing the cross frames and side frame from the pins. Remove the plastic hooks after removing all the frames from the pins.
 - Push the frames out to remove them from the sleeves.
- * Trying to pull out the frames from the sleeves may result in the connecting part inside the sleeve to come off. Make sure to push them out. When a connecting part comes off inside the sleeve, it may damage the material.
- Fold each pole from the middle toward the ends. [Figure Q] Folding from the ends applies load on the shock cord, which can lead to its elongation or breaking. When the shock cord elongates, it loses the power to hold the frame, which can result in the frame breaking. Regularly inspect the tension of the shock cords.



- Remove all pegs, clean them, and store them in the peg case with their heads facing down. Store all frames in the frame case. The frame should be stored with its head facing down in the frame case. If the frame is exposed, it may damage the fabric or the carry bag.

Storing the Product in the Case

- 1 Fold the main unit and fly sheet to fit the length of the carrying bag and put them in the bag.
- 2 Place the frames and pegs in their dedicated cases, and then store them in the carrying bag. Storing them exposed in the carrying bag may damage the fabric of the main unit and/or the carrying bag.



Regarding Condensation

Mist is a collection of water droplets suspended in the air that turns into condensation in rapidly falling temperatures. In smaller spaces such as the inside of a tent or shelter, water vapor concentration is higher than in an ordinary room and frequently results in more condensation. Depending on the surrounding conditions, it may be impossible to avoid condensation completely, even with waterproof materials. To reduce condensation, allow steady ventilation while the tent is in use.

Water-Repellent and Waterproof Functions

- This product's waterproof performance is activated by the material swelling when it gets wet. Rain may leak in when the material is exposed to a sudden large amount of rainwater before it swells.
- The materials used in this product are treated with a high-performance water-repellent finish. However, water-repelling performance (water-repelling method and durability) may vary slightly due to the characteristics of each material. Water-repelling performance will decrease after repeated use. If performance decreases, use a water-repellent spray, which is available at most retailers. When using the spray, be sure to follow the product instructions.
- The inner tent bottom of this product uses materials with high waterproof performance. However, if the materials make contact with pools of water on the ground for long periods, water may soak into the materials.
- Agricultural chemicals and other substances may cause the PU coating to break down, which can significantly reduce the product's ability to withstand water pressure. If this occurs, there is no guarantee that the product will function as intended.
- The logo mark may peel due to the effects of the water repellent.

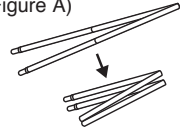
Anti-fungal Treatment

- A highly effective anti-fungal treatment has been applied to the material of the fly sheet. Anti-fungal treated products are more resistant to certain fungal growth compared to non-treated products.
- It does not kill off fungi. It suppresses the growth of certain fungi.
- It does not guarantee that no fungi will grow on the material. Fungi may grow on the material depending on use conditions.
- Anti-fungal performance may decrease after repeated use. The effective period depends on the actual environment where the product is used.

Maintenance & Storage

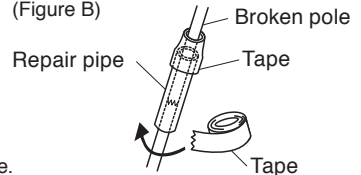
- In designing this product, we took the material characteristics into consideration and adopted processing and color patterns that will result in less color migration. However, color migration may occur depending on storage conditions. Please note that beforehand. Do not store the product while it is wet.
- This product uses materials that are prone to wrinkling. Please note that beforehand.
- Storing the product while it is still wet can result in issues such as mold buildup, bad odors, color migration, and material deterioration. After using the product, dry it sufficiently in a well-ventilated and shaded area and clean the surface with a soft brush before storing.
- Do not flip the tent over with poles still in the sleeves, as the poles may break, and cloth damage may occur.

- Clean and dry the surfaces of the poles sufficiently before storing. Storing them while they are still wet can result in corrosion, which will weaken them. Keep the joints clean and apply a small layer of silicone lubricant. Applying too much lubricant can stain the material. Do not pull the shock cords inside the poles unnecessarily.
- In order to store the poles, they must be folded down. When folding each pole down, (Figure A) hold one section in each hand and fold at the joint in the middle. Repeat until the pole has been folded down to its smallest size. (Figure A)



- If a pole is bent during use, attach a repair pipe (included) to the pole and secure it with plastic tape, or pack up camp. (Figure B)

(Figure B)



- Store the product in a well-ventilated area, away from heat and moisture.
- Using the zipper when it is covered with substances such as mud, sand, or dust may cause wear or damage. Clean the zipper with a brush before storage. Apply a small amount of silicone lubricant to the zipper regularly to allow for smooth movement. Applying too much lubricant can stain the material.
- Minor damage to the cloth can be mended with repair tape that can be purchased from your local outdoor gear retailer. Refer to the product instructions for the correct use of such repair tape.
- Depending on the conditions during use, the tent material may deteriorate over a wide area, losing its durability and becoming irreparable.
- Seam tape has been pressure bonded at a temperature set to not damage the PU coating. However, it may begin to peel with continued use. If peeling occurs, use an iron set to low temperature to pressure bond the peeling section. Ensure that only the peeling section is ironed, when doing so. Applying too much heat could cause discoloration or accelerate deterioration of the material. Do not peel the seam tape off by force. If the PU coating is also pulled off, it may become irreparable.
- Do not allow sap to stick to the product, as sap cannot be completely cleaned off. Avoid placing the product under trees that may drip sap. Using solvent or other substances in an attempt to remove sap will damage the material and coating.
- Carefully maintain and inspect the product (including accessories such as ropes and pegs) as per the above instructions in preparation for the next time the product will be used.

Regarding Warranty

Snow Peak has taken all possible measures to ensure every product is durable and functions correctly. If you find any product defects, please contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service. If there are apparent defects in the product's manufacturing, the defective product will be repaired or exchanged free of charge. In other cases, Snow Peak will repair the product for an appropriate fee. The decision to repair or replace the product will be at our discretion. Snow Peak will not repair the product for any damage that occurred due to the following

1. Material deterioration caused by age
2. Damage caused by modifications or rough handling
3. Damage caused by inappropriate use not mentioned in the instruction manual
4. Damage caused by unexpected accidents
5. Any damage other than defects in the manufacturing process
6. Damage caused by dust or rust
7. Damage and defects caused by dismantling the product
8. Damage and defects caused by dropping, jolting or other shocks
9. Deterioration or failure of parts due to friction
10. Damage caused by the use of the product in combination with another manufacturer's products

Repair

- If professional repairs are required, please contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service.
- When you request repairs, please make sure that the product is dry and clean.
- Please attach a memo or a tag indicating the necessary repair and please write details of how and when the damage occurred.
- Transportation and repair costs are determined as follows:
 1. Within warranty: The transportation cost (both ways) and repair cost will be covered by Snow Peak.
 2. Outside warranty: The transportation cost (both ways) and repair cost will be covered by the customer.

Spec

Contents: Fly Sheet, Inner Tent, Cross Frame(x2), Side Frame, Front Chamber Frame, Duralumin Pegs(17cm/6.7"×18), Rope with a Rope Tensioner (1.4m/4.6'×2, 2.5m/8.2'×2, 5m/8.2' forked end ropex2), Repair Pipe, Carry Bag, Frame Case, Peg Case

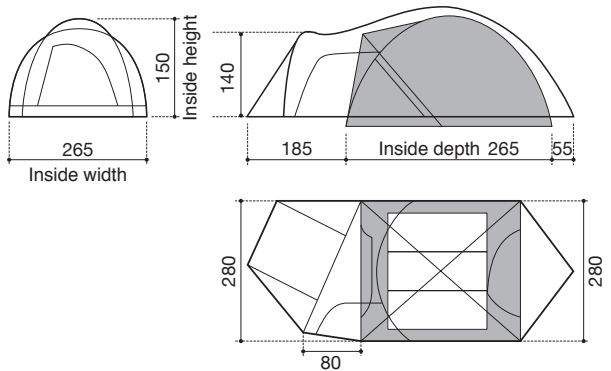
Material: Fly Sheet / 210g/m² Polyester Cotton Mix(Polyester around 65%, Cotton around 35%), Water-repellent Finish, Anti Mildew Finish, Inner wall / 68D Polyester Taffeta, Bottom / 210D Polyester Oxford, PU coating Waterproof rating: 1,800 mm minimum, Frame / A7001(Φ12.8mm/Φ0.5", Φ12mm/Φ0.47", Φ11.8mm/Φ0.46")

Carry Bag Size: 74×22×25(h)cm/29.1"×8.7"×9.8"(h)

Weight: 11kg(24.3lbs)

Capacity: 3-5 persons

Unit is in centimeters



Snow Peak USA, Inc.

404 NW 23rd Avenue, Portland, Oregon 97210, USA
Tel. +1 (503) 461-0781 / Instagram. @snowpeakusa
Email. info@snowpeak.com / www.snowpeak.com

Snow Peak, Inc.

456, Nakanohara, Sanjo-Shi, Niigata 955-0147 Japan
Tel. +81 256-46-5858 / Fax. +81 256-46-5860
www.snowpeak.co.jp

MADE IN CHINA